

奈良高専 図書館だより

No. 2

記事

新入生ガイダンス特集

1. 劇画と読書
2. 図書室の利用案内
3. 図書室主要雑誌リスト
4. 新着図書案内

1979年4月 奈良工業高等専門学校 発行

劇画と読書

一般教科 細井誠司

旅好きの知人が、こんな話をしてくれた。

親族知友の盛んな見送りを受け、新婚旅行に出発する若いカップル。——いつも変わらぬ駅頭風景だが、よく見ると新郎は「少年マガジン」を、新婦は「少女フレンド」を、スーツケースと一緒に大事そうに抱えている。劇画世代だからとはいえ、新しい人生の門出にまで、そうした漫画類をいそいそと携えて行くこともなかろうに……。ホントに大丈夫なのか心配になった、というのである。

知人ならずとも大人の世代にとって、こうした風潮はいささか気になるところだ。若い諸君にとって、漫画や劇画は、味を占めたらやめられないものの一つになっているらしい。休憩時間もち論のこと、授業中でも、教官の目をかすめたつもりで、机の中にこっそりと広げている人を時々見かける。

なぜこうも劇画がはやるのか、思い巡らしてテレビに行き当たった。テレビの四角い顔立ちは、劇画の四角なコマと同じだ。音声と、説明・会話文との違いはあっても、画像が大きな比重を占めていることは両者に共通している。テレビにお守りされて育った諸君が、テレビにかじりつくのも無理はない。

しかしテレビは、長所ばかりでなく短所もまた備えている。音声に映像が加わったことで、大量の情報を一時に、しかも分かりやすい具体的な形で伝えることが可能になった。その代わり私たちは、じっくりと考

えるゆとりを失い、精神の働きが受身一辺倒になることによって、思考力や想像力、創造力や表現力を低下させてしまった。

こうしたテレビに慣れてしまえば、活字離れが急速に進んで、視覚化されて読みやすい漫画や劇画にばかり手が延びがちになる、というのも無理はない。大学生の読書実態調査によると、読書時間が一日平均30分以下の人（つまり、一週間に3時間ほどでも読むか読まないかの状態の人）は、約4割に達するというし、一部の高校では、コミック類を書架に並べ始めたときえ聞く。

しかし諸君、と私は呼びかけたい。今読みかけの漫画からちょっと目をあげて一緒に考えてみよう。——漫画の世界では、物事がいともたやすく処理されて、物語が進んで行く。幾コマかは、飛ばして読んでも筋の理解に困らない。人の生き死にも簡単であり、本モノの人生が描き出す複雑な模様や、人の心の微妙な^{ひだ}襞は、ややこしいから表現されない。読み手の方にも安易志向があって、それでよしとする。——これが漫画の世界である。

もち論、物語性の濃い劇画も近ごろは多くあって、主人公の生き方から教えられ、慰めや勇気を与えられると弁護する人もいよう。夢があるという人もいる。しかしそれとても、本格的な文学や古典の世界には遠く及ぶまい。

無意識の中に身につけた劇画的発想は、感覺的、皮相的に物事を処理しがちな現代の哀しい風潮を生んだ。かけがえのない本モノの人生を、劇画の世界と混同して、一コマや二コマくらいなら軽く飛ばして、短絡的に解決しようとする。社会問題と化した小学生の自殺の増加なども、こうした傾向の一端ではなからうか。

そうは言っても、漫画を禁止することで諸君の楽しみを奪おう、などという気持ちは毛頭ない。漫画の楽しみも、読書の^{たの}しみへといつかは変わる時が来る。漫画・劇画しか読まないことが問題なのだ。願わくは、今少しの努力を積み重ねることによって読書の世界へ参入し、読むことの^{たの}しみを知ってほしいのである。読書の型は、大雑把に分けると次の三通りになる。

その中の一つは、無目的の自由な読書である。「更級日記」の作者は、「源氏物語」を初めて手にした折の喜びを、「^{きさき}後の位も何にかはせむ」(女性の夢である皇后の位も問題ではないという意味)と表現した。一切の功利を^さ離れ、^{たいこみ}寝食さえ忘れて文学の世界に陶醉する——読書の醍醐味は、この自由な読み方の中にこそある。しかし結果として私たちは、小説の世界から人間の複雑な内面や生きざま、社会の仕組みなどを学ぶことになる。小説の効用は、^む無用の用、にあるのだ。

第二に、知識や情報を得るための読書があげられる。高度な専門書から卑近なハウツーもの(入門書・実用書)に至るまでの、広範な書物がその対象である。学問

や生活上の知識も、書物に負うところが多いから、書物から受ける恩恵は測り知れない。しかし、すぐに役立つ知識は、役に立たなくなるのも早い。人生は息の長い勝負であるから、若い諸君は、目の利益に惑わされることなく、より本質的で不変の価値をもつ知識の体得に努めてほしい。

その意味で第三には、人生知を得るための読書があげられる。いわゆる教養としての読書だ。文学作品の優れたものを含めて古典がその対象である。古典は、時の試練に耐え、人々の様々な要請にこたえて生きながらえて来た、永遠の書物である。したがってそこには、人類の英知が^ぱックされている。無くてならぬものは、そう多くはないように、人を生かす知恵もまたそう多くはないとすれば、古典はまさにその知恵の宝庫である。知って生きるのと知らずに生きるのとでは、人生の豊かさという点で大きな開きが生ずる。古典の世界へ分け入って、自己の精神的支柱となるような作品に是非巡り会ってほしい。

古典を読むのは確かにしんどい。コツコツと地中に^{つるはし}鶴嘴を振るような努力が必要だ。しかし、鉋脈を掘り当てた時の喜びは、何物にも替えがたいものであろう。「新しく本が出たと聞く度に古典を読め」と先人も言った。青春の若き日に古典を読んで、人格の基礎を固めてほしいものだ。(国語)

図書室の利用案内

— 新入生ガイダンス特集 —

1 .はじめに

この小冊子は、「新入生のための図書室利用案内」を特集しました。

図書室は、あなたたち学生がこの5年間どう利用するかによって、あなたたちの学習、および、人間形成が大きく変わってくる、大変重要な場所です。この図書室をどう利用したら良いかについて説明しますので、よく読んで利用して下さい。

2 .図書室の概要

図書室が設置されたのは、学校開校と同じ頃(昭和39年)で、新しい図書館が開館したのは、昭和50年9月です。図書室全体の面積は約1,600㎡で、そのうち図書室は約466㎡あります。閲覧席数は、70席あります。現在の蔵書冊数は約4万冊で、そのうち、専門図書は約1万9千冊、一般図書は約2万1千冊です。現在受入れている雑誌は444点で、そのうち、図書室は239点、研究室は205点です。昨年度の貸出総冊数は、約1万1千冊です。

3 .図書室の利用方法

3-1 開室時間と休室日

開室時間は、次のとおりです。

月～金 8.30 ~ 17.00
土 8.30 ~ 12.30

休室日は、次のとおりです。

日曜日・祝祭日
創立記念日(4月18日)
年末年始(12月28日~1月4日)
臨時休室日(その都度掲示します)

3-2 図書貸出券

図書室に所蔵する資料を利用する場合には、図書貸出券が必要ですから、毎年の学年始(4月)に図書室カウンターで貸出券(4枚)を受け取って下さい。2年生以上は、前年度の貸出券と引き換えに発行しますから、必ず持って来て下さい。

年度途中で貸出券を紛失した場合は、再発行しますから、必ず図書室へ届け出て下さい。

3-3 入室・室内閲覧

入室する際には、カバン・袋類をカウンター前のロッカーに必ず入れて下さい。ただし、教科書・ノート類の持ち込みはかまいません。

入室、および、室内閲覧は自由に行えますので、遠慮せずに利用して下さい。

3-4 室外貸出

図書室にある図書類を室外貸出したい時には、その図書と貸出券を係員に渡して許可をもらって下さい。

貸出冊数・期間は、次のとおりです。

冊数	1人4冊まで
期間	2週間
期間延長	1期間のみ(必ずその図書を 持ってくること)

休業期間中は、返却日が休み明けになります。

その他に、卒研用の長期貸出(5年生対象)は、1人5冊、1か月間です。

3-5 返却

貸出した図書を返却する際には、図書を係員に渡し、学年・クラス名と名前を言って下さい。

返却期限は必ず守って下さい。つぎの人が待っていますから。期限を守らない場合には、図書室の利用を停止することがあります。

3-6 図書の紛失

貸出中の図書を紛失した場合には、必ず係員に届け出て下さい。原則として、同じ図書を弁償してもらいます。

3-7 図書の配列と検索

図書室における図書の配列は、「日本十進分類表(NDC)第7版」によっています。その主たる表は次のとおりです。

0	総記	(図書館・百科事典・双書)
1	哲学	(哲学・心理・倫理・宗教)
2	歴史	(歴史・伝記・地理・紀行)
3	社会科学	(政治・法律・経済・社会等)
4	自然科学	(数学・物理・化学等)
5	工学技術	(機械・電気・金属・化工等)
6	産業	(農林・水産・商業・交通)
7	芸術・体育	
8	語学	
9	文学	

ただし、「電磁気学(427)」と「電気工学(540)」、「化学(430)」と「化学工業(570)」等は、分類番号が違うものでも、同じ書架にまとめて配列し、探しやすくしてあります。

また、書架で目的の図書が見つからない場合には、

目録カードを利用して下さい。目録カードには、次の3種類があります。

1) 著者名目録

著者の読み方をローマ字(ヘボン式)で書き、そのABC順に配列してありますから、著者名が解っている時に利用して下さい。

2) 書名目録

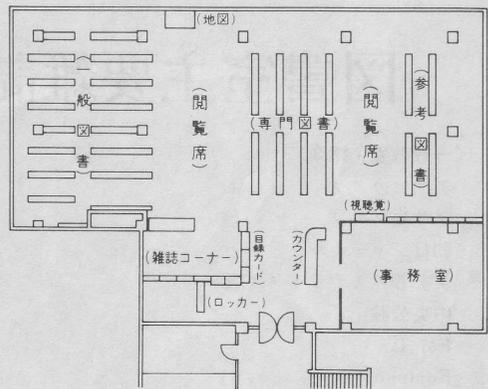
書名の読み方をローマ字(ヘボン式)で書き、そのABC順に配列してありますから、書名が解っている時に利用して下さい。

3) 分類目録

図書の主題を「日本十進分類表 第7版」で分類し、その番号順に配列してありますから、必要とする主題のもとにどのような図書があるかを探す時に利用して下さい。

目録カードは、入口のカウンター前にあります。

その他、検索方法について解らない場合には、係員にたずねて下さい。



〔図書室配置図〕

4 所蔵資料とその配列

4-1 単行書

単行書は、専門教科(機械・電気・化学・自然科学等)に関するものと、一般教科(文学・哲学・歴史・語学等)に関するものがあります。専門図書は、入口を入れてすぐ前の書架に、分類別に配列してあります。一般図書は、入口を入れて向って左奥(校舎側)の書架に、分類別に配列してあります。ともに、普通に(4冊・2週間)借りられます。

4-2 参考図書

参考図書とは、事典・辞書・便覧・ハンドブック等のことで、主に疑問等を調べる際に、その図書の必要な部分をその都度ひいて調べるものですから、原則と

して借りられません。しかし、閉室前（午後3時頃）から、翌日の閉室時（午前10時頃）まで、一晩の貸出し（一夜貸し）を許可していますから、係員に申し出て下さい。

参考図書は、向って右奥（道路側）の書架に分類別に配列してあります。

4-3 雑 誌

雑誌（未製本）は、入口のすぐ左側の「雑誌コーナー」にあります。現在購入している雑誌の一覧は、別掲のとおりです。過去一年以内の新しい雑誌は、製本されていないために、貸出は原則として一夜貸しです。一年以上前の雑誌は、ほとんど製本してあり、左奥の（校舎側）書架に配列してあります。貸出は一般図書と同じです。

4-4 視聴覚資料

図書室には、音楽カセット・語学カセット・文芸カセット・レコード・スライド・映画等の視聴覚資料が

カウンター横の棚に入っています。これらの貸出は、一般図書と同じようにできますが、利用したい時は、係員に申し出て下さい。

4-5 地 図

地図は、入口を入れて真正面奥の窓際にあります。

種類は、「5万分の1地形図」・「20万分の1地勢図」が全国、「2万5千分の1地形図」が奈良県のみあります。その他に、奈良県・京阪神・東京等の地図集、分県地図・国勢地図・日本山岳地図と、中国大陸・世界地図等があります。

これらは原則として禁貸出ですが、短い期間なら、貸出します。

5 .その他

その他、図書室の利用の仕方、図書の利用方法等、なんでも解らないことがありましたら、係員に遠慮なくたずねて下さい。

図書室主要雑誌リスト（購入分のみ）

<一般教養・娯楽>

アサヒカメラ
アサヒグラフ
朝日ジャーナル
文芸春秋・デラックス版
中央公論
FM fan
Fortune
芸術新潮
時事英語研究
時刻表
キネマ旬報
National Geographic Magazine
音楽の友
歴史読本
思想
Spiegel
旅
太陽
鉄道ジャーナル
Time
山と溪谷

<共 通>

オートメーション
BASIC 数学

Engineering（寄贈）

技術教室
科 学
科学朝日
科学の実験
サイエンス（研究室購入）
自 然
数学セミナー
数理科学

<機 械>

機械の研究
機械設計
機械と工具
金 属
内燃機関
応用機械工学

<電 気>

CQ ham radio
電気計算
電波科学
電波と受験（研究室購入）
無線と実験
ラジオ技術
初歩のラジオ

〈化 学〉

Chemical & Engineering News
ケミカル エンジニアリング
現代化学
化 学

化学工場
化学装置
高分子
MOL
PPM

新 着 図 書 案 内

1 .この案内は、図書室に配架されている図書につ
いてのみである。

2 .配列順は、次のとおりである。

総 記
哲学・宗教
歴史・地理
社会科学
芸 術
体 育
語 学
文 学
工学共通
機械工学
金属工学
電気工学
化学・化学工学
その他の工学・産業
自然科学
文庫・新書
カセット・レコード
スライド・映画

葛村史 土井 実他 葛村
大宇陀町史 土井 実他 大宇陀町
当麻町史 当麻町
十津川 吉野郡十津川村
十津川郷 西田正俊 十津川村史編纂所
吉野町史 上・下 吉野町
現代日本執筆者大事典1 佃実夫他 日外アソシエーツ
世界の構図 村上次男 古今書院
アジア・オセアニア 川崎 敏 古今書院

〈社会科学〉

時差は金なり 三菱商事広報室 サイマル
実践経営哲学 松下幸之助 PHP研究所
人間はどこまでふえるか 村松 稔 ブルーボックス
日本国勢図会1978 国勢社
世界の民族 7 平凡社
就職試験にでる経済用語 加藤 寛 経済会

〈芸 術〉

日本美術全集5 学習研究社
西洋美術全史2 W. H. シューフハルト グラフィック社
週刊朝日百科 世界の美術1.5.6巻 朝日新聞社
顕微鏡 使い方・写し方 竹村嘉夫 共立
生態写真入門 佐々木 崑 共立
潜水と水中撮影入門 須賀次郎他 共立
演劇の歴史 プリストリー 三省堂

〈総 記〉

学校図書館基本図書目録 1978年 S L A
日本はよみがえるか 松下幸之助 PHP
奈良県統計年鑑 昭和51年 奈良県

〈哲学・宗教〉

プラトン全集14 岩波
人間をみつめて 新版 神谷美恵子 朝日新聞社
真創世記 地獄編 高橋佳子 祥伝社

〈歴史・地理〉

日本の歴史1-32 小学館
近代古文書演習 立教大学日本史研究室 柏
奈良県勢要覧 昭和53年版 奈良県
葛上村史 池田末則 葛上村

〈語 学〉

世界言語概説 上・下 市河三喜他 研究社
作法双書 明治
・詩の作り方 黒田三郎
・文章の作り方 塩田良平
・短歌の作り方 木俣 修
・俳句の作り方 石原八束
・川柳の作り方 近江砂人
・漢詩の作り方 新田大作
・ドラマの書き方 宮本 研

作法双書

- ・ 童話の作り方 福田清人
 - ・ 敬語の使い方 大石初太郎他
 - ・ 小説の書き方 野間 宏
 - ・ 漫画の描き方 根本 進
 - ・ 手紙の書き方 斎藤芳樹
 - ・ 文章の書き表し方 大倉佐一
 - ・ 横書き文の書き方 大倉佐一
 - ・ 論文・レポートの書き方 八杉龍一他
 - ・ 高校演劇の作り方 都立高等学校演劇研究会
 - ・ 学校新聞の作り方 大木薫他
- 何でもわかることばの百科事典 平井昌夫 三省堂
 新・日本文法入門 大久保忠利 三省堂
 英語ニューハンドブック 長井氏晟 研究社
 現代独和辞典 R・シンチンゲル 三修社

明治

〈工学共通〉

- 伝熱論 橋 藤雄他 コロナ
- エネルギーをつかむ 本間琢也他 ブルーバックス
- フォートラン演習 小島 悦他 コロナ
- 現代技術の再評価 向坊 隆他 工業調査会
- 技術者のOR入門 依田 浩 朝倉
- 移動論 三神 尚 朝倉
- 自動制御 水上憲夫 朝倉
- 自動制御演習 秋山守男他 森北
- 人類と機械の歴史 増補版 S. リリー 岩波
- 計器サーボ系の設計法 B.A.Chubb 学献社
- 機械技術者のための生産管理 稲本稔 明現社
- 基礎情報理論 藤田広一 昭晃堂
- 基礎流体力学・水力学演習 原田幸夫 槇
- 工学のための初等ラプラス変換 村田愛祐 オーム
- 工高演習自動制御 佐藤達男他 学献社
- 固体の力学入門1-2 E. P. ポポフ 培風館
- マイコンピュータをつかう 安田寿明 ブルーバックス
- マイクロコンピュータの活かし方 石田晴久 産報
- もはや技術なし 星野芳郎 光文社
- 熱流体の数学 鬼頭史城 コロナ
- OR入門 牧野都治 森北
- 流体力学序説 富田幸雄 養賢堂
- 最新マイクロコンピュータ読本 森 亮 工業調査会
- 生産管理工学 人見勝人 コロナ
- 数理計画法入門 相良信子 森北
- システム工学 加地郁夫 朝倉
- トヨタの現場管理 日本能率協会 同協会
- わかる材料力学 竹内洋一郎 日新出版
- わかる材料力学演習 竹内洋一郎他 日新出版
- 材料科学のための物体変形学 山本三三三誠文堂新光社
- 材料力学1-2 渥美 光他 森北
- 材料力学：光弾性で補充する 西田正孝 森北

〈文学〉

- 文学入門 伊藤 整 光文社
- 愛って何 三田誠広女性対談集 河出
- 安楽死 西村寿行 徳間
- ぼくはローリング・ストーン 石原俊光 河出
- 葡萄畑 高橋三千綱 講談社
- 大東京四谷怪談 高木彬光 光文社
- 副社長 清水一行 光文社
- 腐蝕の構造 森村誠一 祥伝社
- 牙城を撃て 上・下 西村寿行 徳間
- 北条政子 永井路子 講談社
- 異型の白昼 森村誠一 光文社
- 人狼天使 1-2 平井和正 祥伝社
- 神と悪魔の王手 斎藤 栄 光文社
- 化石の荒野 西村寿行 徳間
- 黄色いリング 横江平吉 サンケイ
- 国際捜査官 島田一男 光文社
- 九月の空 高橋三千綱 河出
- 都市(まち)を射ぬく 夏堀正元 光文社
- 三毛猫ホームズの推理 赤川次郎 光文社
- 黄金の珊瑚礁 荒巻義雄 徳間
- 淋しい人間 山崎正和 河出
- 去りなんいざ狂人の国を 西村寿行 祥伝社
- 新・幻魔大戦 平井和正 徳間
- 白い花が好きだ 正・続 新田次郎 光文社
- 処刑(ころし)の掟 大藪春彦 徳間
- 湘南夫人 嵯峨島 昭 光文社
- 峠に棲む鬼 上・下 西村寿行 徳間
- 都市の仮面 半村 良 徳間
- 夕風の河口 梅原稜子 集英社
- 外宇宙の女王 A. B. チャンドラー 徳間
- スペース・ウォーズ C. サイマーク 徳間
- 野望の街 H. ロビンス 文芸春秋

〈機械工学〉

- 標準機械設計図表便覧改訂増補版 小栗富士雄 共立
- ジグ・取付具の基礎と応用 塩崎義弘 コロナ
- 蒸気工学 石谷清幹 コロナ
- 蒸気工学実験法 ステイリコビッチ他 コロナ
- 蒸気工学総合演習 石谷清幹他 コロナ
- 機械工作例題演習 加勢 晋 コロナ
- 機械力学1-2 谷口 修 養賢堂
- 機械設計製図法 新編 設計製図研究会 森北
- 機械要素強度計算便覧 セレンセン他 森北
- 精密仕上と特殊加工 五十嵐正隆 明現社
- 切削工学 会田俊夫他 コロナ
- 切削工学 稲田重男他 朝倉

水力学および流体力学演習 太田英一 学献社

<金属工学>

鑄鉄鑄物の鑄造方案の考え方 日本鑄物工業会 コロナ
 鑄造 山内一彦 明現社
 技能指導 鑄造法 池田薫男 工学図書
 技能指導 熱処理作業 水沢昭三他 工学図書
 技能指導 プレス加工 技能教育研究会 工学図書
 技能指導 溶接の実技 水沢昭三他 工学図書
 金属加工学通論 三橋鉄太郎 コロナ
 金属塑性加工の力学 トムセン他 コロナ
 金属塑性加工の進歩 五弓勇雄 コロナ
 成形加工論 春日保男 コロナ
 衝撃冷間押出し J. L. エバーハート コロナ
 塑性学および加工 春日保男 コロナ
 塑性加工学 大矢根守哉他 コロナ
 塑性加工の基礎 ドイツ鉄鋼協会 コロナ
 特殊溶接入門 塩崎義弘他 コロナ
 溶接 荻田 傑 明現社
 造型技術の要点 日本鑄物工業会 コロナ

<電気工学>

第2種10か年電験全問題と標準解答の研究
 昭和41~50年 東京電機大学
 第3種10か年電験全問題と標準解答の研究
 昭和41~50年 東京電機大学
 電気磁気・電気回路基本問題の研究：電気磁気編
 村上正夫 近代科学社
 電気計測学 豊田 実 朝倉
 電気計測要綱 松元 崇他 学献社
 電気工事士試験必携 井川治男他 弘文社
 電気数学1~3 木下隆博 オーム
 電波技術への招待 徳丸 仁 ブルーバックス
 基礎交流理論演習 佐藤瑞穂 培風館
 高压電気工事技術者試験 井川治男他 弘文社
 国際電気通信関係略語集 第3版 国際電電
 ハリス回路のための過渡現象演習 篠崎寿夫他 東海大学
 最新ダイオード規格表 1978 時田元昭 CQ出版
 サイリスタ実用便覧 山村 昌他 オーム
 初等電気磁気学 山根友夫 理工学社

<化学・化学工学>

微量定性分析 石館守二 南山堂
 分析化学入門 S. シギア 南江堂
 物質の探究 下沢 隆 丸善
 物理化学 上・下 第3版 バーロー 東京化学同人
 化学反応の速度と平衡 佐藤 弦他 裳華房

化学反応と電子の軌道 福井謙一 丸善
 化学者のための硝子細工法 高木貞恵 三共
 無機化学 上・下 ヘスロップ他 東京化学同人
 最新液体クロマトグラフィ 原 昭二他 南山堂
 酸化と還元 守永健一 裳華房
 新実験化学講座 19・20 日本化学会 丸善
 SI単位と物理・化学量 M.L. マグラシヤン 化学同人
 定量分析の実験と計算2 高木誠司 共立
 定性分析化学 中巻 高木誠司 南江堂
 有機化学 上・下 プリュスター他 東京化学同人
 有機化学 上・下 第3版 モリソン他 東京化学同人
 有機化学実験集 都筑洋次郎他 裳華房
 図解 初めて化学の実験をする人のために 西山隆造 オーム
 化学工学便覧 化学工学協会 丸善
 界面活性剤合成と其応用 小田良平他 楨
 活性炭：基礎と応用 炭素材料学会 講談社
 吸着 慶伊富長 共立
 Mass transfer T.K. Sherwood 他 McGraw-Hill
 プラスチックの成形加工 山口章三郎 実教
 最近の化学工学・反応速度の工学 化学工学協会 丸善

<その他の工学・産業>

指標生物 松中昭一 講談社
 水質汚染の機構と解析 日本地球化学会 産業図書
 稲の道 渡辺忠世 NHK

<自然科学>

超常現象の科学 都筑卓司 ブルーバックス
 学研中高生図鑑1-12 本間三郎 学習研究社
 ガリレオ伝 L. フェルミ他 ブルーバックス
 技術の歴史5 筑摩
 岩波科学の本9・13 岩波
 ラヴォワジエ M. ドーマス 東京堂
 理科年表, 1978年版・1979年版 東京天文台編 丸善
 岩波講座 基礎数学20-21 岩波
 「数」のおもちゃ箱 高野一夫 ブルーバックス
 四色問題 一松 信 ブルーバックス
 図学演習 萩 三一他 学献社
 図学問題演習 幸田 彰他 オーム
 図学と製図 幸田 彰 培風館
 「場」とはなにか 都筑卓司 ブルーバックス
 物理現象を読む 藤井 清他 ブルーバックス
 岩波講座 現代物理学の基礎11 岩波
 近代物理の発想I 中村 伝 ブルーバックス
 水とはなにか 上平 恒 ブルーバックス
 やさしい力学教室 吉福康郎 ブルーバックス
 新しい宇宙観 F. ホイル ブルーバックス
 天体写真入門 香西洋樹 ブルーバックス

宇宙の終焉	杉本大一郎	ブルーバックス
洞窟学入門	上野俊一他	ブルーバックス
氷河期の気候	鈴木秀夫	古今書院
化石からさぐる日本列島の歴史	森下 晶	ブルーバックス
日本の火山災害	村山 馨	ブルーバックス
バイオコア7.21.22		化学同人
人類の現われた日	川井直人他	ブルーバックス
カラー植物百科		平凡社
原色日本野外植物図鑑1-7	奥山春季	誠文堂新光社
花の文化史	P.コーツ	八坂書房
花と花粉	岩波洋造	総合科学
栽培植物の世界	中尾佐助	中央公論社
世界の珍草奇木	川崎 勉	内田老鶴圃
植物系統進化学	井上 浩	築地書館
植物の生活	チミリヤーゼフ	たたら書房
図説 日本の樹木	矢頭猷一	朝倉
図説 日本の植生	沼田 真他	朝倉
肥満を考え直そう	小野三嗣	不味堂
ヒューマンライフエッセイ百科1-20		講談社
1: 宇宙と人間・物質と生命		
2: 人間と病気・進化と遺伝		
3: 免疫のメカニズム・癌		
4: 血液・心臓と血管		
5: 呼吸器系・骨と筋肉・皮膚		
6: 口腔と歯・消化器系・腎臓		
7: ホルモン・性器		
8: 感覚器・神経系		
9: 人間と精神(1)		
10: 人間と精神(2)		
11: 性の調和・妊娠・出産		
12: 子供の誕生と発育		
13: 青春と老化		
14: 人間と環境		
15: 微生物・放射能		
16: 生活環境・旅行・睡眠		
17: 事故と応急処置・労働・職業病		
18: 薬・手術と麻酔		
19: 東洋医学・温泉療法		
20: 人口の増加と人間の未来・医学用語		
驚異の健康源 麦緑素	萩原義秀	祥伝社
生薬の世界	三橋 博	ブルーバックス

〈文庫・新書〉

岩波文庫ジュニア60選		岩波
啄木歌集	久保田正文	角川文庫
小説の味わい方	白井吉見	新潮文庫
岩波新書 黄版34-49, 55-63, 65-66		岩波
性教育	朝山新一	中公新書
性を考える	平井信義	講談社現代新書

〈カセット・レコード〉

バリー・マニロウ / 愛と微笑の世界	東芝EMI
ベートーヴェン交響曲全集Karl Bohm / ウィーン・フィル	ポリドール
ボブ・ディラン / ストリート・リーガル	CBS / SONY
ブルックナー交響曲 第5番変ロ長調	
カラヤン / ベルリン・フィル	ポリドール
カフェクリーム / ビートルズ なーんちゃって	東芝EMI
ベスト・オブ セシリオ&カポノ: ノースシヨアの熱い息吹	
	CBS / SONY
絵夢 / 夜から朝への流れの中で	PONY
ゴダイゴ / デッド・エンド	日本コロムビア
ヘレン・レディ / 太陽に歌って	東芝EMI
イルカ / ちいさな空	クラウン
かぐや姫・今日	クラウン
河島英五 ライブ / てんびんばかり	アポロン
風 / インストルメンタル曲集	クラウン
レターメン / スタンダード・ベスト20	東芝EMI
マーラー交響曲第6番(悲劇的)カラヤン / ベルリン・フィル	
	ポリドール
マルチェラ / 炎の瞳	KING
丸山圭子 / 裸足で誘って	キングレコード
松任谷正隆 / 夜の旅人	クラウン
松崎しげる / Perfection	ビクター
南こうせつと風 / ジョイントコンサート	PONY
中島みゆき / 愛していると言ってくれ	PONY
ナタリー・コール / Best now	東芝EMI
大塚博堂 / サード・アルバム, もう少しの居眠りを	アポロン
ロバータ・フラック / 愛の世界	アポロン
清水健太郎 / ミスター・ロンリー	CBS / SONY
鈴木 茂アルバム(3) Caution.	クラウン
渡辺真知子 / 海につれていって	CBS / SONY
山崎ハコ / ファースト ライブ	PONY
山崎ハコ / 流れ酔い唄	PONY
矢沢永吉 / ゴールドラッシュ	CBS / SONY

編集後記



この号は、新入生のためのガイダンスを特集しました。が、2年生以上にとっても、再度正しい利用の仕方を知るためによく読んでほしいと思います。

「図書館にいたら、よく本が読めるでしょう」ということをたびたび言われますが、残念ながら他の人々と変わらないでしょう。仕事で読む場合には、「序文」と「目次」のみで、「本文」を読んでいたら、仕事になりません。読みたくても読めない本が毎日、目の前を何十冊と通り過ぎて、欲求不満の連続というのがいつわらざる心境です。(N)